

21.01.19

Zホールディングス株式会社
ヤフー株式会社

Yahoo! JAPAN、「2023年度 100%再エネチャレンジ」 を宣言

～ 100%再生可能エネルギー化を約3年という短期間で実現

Zホールディングスグループは、国際イニシアチブ 「RE100」の早期加盟を目指す～

Zホールディングス（以下、ZHD）グループの中核企業であるヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）は、2023年度中にデータセンターなど事業活動で利用する電力の100%再生可能エネルギー化の早期実現を目指す「2023年度 100%再エネチャレンジ」を宣言します。100%再生可能エネルギー化を目指す多くの企業が2040年、2050年という中長期での達成目標を掲げる中、Yahoo! JAPANは約3年という短期間で目標達成を目指します。

また、ZHDグループは、事業活動で利用する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標とする、国際イニシアチブ「RE100」（※1）の早期加盟を目指し、100%再生可能エネルギー化の実現に向け、2021年度中にグループとしての中長期目標を発表する予定です。

経済産業省は、2020年12月に関係省庁と連携して「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を策定しました（※2）。また環境省では、「地球温暖化対策の推進に関する制度検討会」が実施されるなど（※3）、企業における気候変動問題への取り組みも重要視されています。

ZHDグループでは、持続可能な社会の実現に向けて、従来気候変動問題への取り組みを推進するとともに、事業活動にともなう環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。Yahoo! JAPANでは、自社が利用するデータセンターのエネルギー使用効率の改善や、供給電力を100%再生可能エネルギーで賄う米国データセンターの建設など（※4）、気候変動の「緩和」に対する取り組みを実施してきました。

現在Yahoo! JAPANが事業活動で利用する電力のうち、95%がデータセンターで利用されています。供給電力を100%再生可能エネルギーで賄っている米国ワシントン州のデータセンターに加え、このたびYahoo! JAPANが利用する福岡県北九州市の「アジア・フロンティア」、福島県白河市の「白河データセンター」のほか、Yahoo! JAPANが事業活動で利用する電力の100%を2023年度中に風力や太陽光などの再生可能エネルギーに変更します。

ヤフー株式会社 執行役員 コーポレートグループ SR推進統括部長の西田修一は、以下のようコメントしています。「地球環境を健全に保つことは、人々の生活と社会が成り立つための前提であり、それなくして情報技術社会の発展はないとZHDは考えています。今回、ZHDグループの中核企業の一つであるYahoo! JAPANにおいて、気候変動や地球温暖化の原因となっている温室効果ガス（GHG）の排出削減を目指し、事業活動で利用する電力の100%再生可能エネルギー化の目標を掲げました。これにより、Yahoo! JAPANのユーザーにも、より環境に配慮したサービスを提供できるようになります。今後は100%再生可能エネルギー化されたデータセンターをグループ企業で活用していくなど、ZHDグループ全体で再生可能エネルギーの導入および利用拡大を推進することで、企業価値の向上を目指していきます。」

※1 「RE100」は、The Climate GroupとCDPによって運営される企業の自然エネルギー100%を

推進する国際ビジネスイニシアチブです。

※2 [経済産業省「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略を策定しました」](#)

※3 [環境省「令和2年度地球温暖化対策の推進に関する制度検討会について」](#)

※4 各取り組みの詳細は以下です。

■ZHDの気候変動の「緩和」に関するこれまでの取り組み

・データセンターでの取り組み

Yahoo! JAPANでは、インターネット事業を運営するために必要なサーバーの大部分を自社の設備で運用しています。特に福岡県北九州市の「アジア・フロンティア」、福島県白河市の「白河データセンター」では、外気を利用した空調システムなど、最新技術を活用した温暖化対策を実施しています。また継続的に設備の入れ替え、新規設備投資などを行うことにより、エネルギー使用効率の改善を図っています。

関連リンク：[環境配慮型の次世代データセンターを建設](#)

・米国データセンターへの移行

Yahoo! JAPANの米国現地法人「Actapio, Inc. (旧YJ America, Inc.)」は米国ワシントン州に約1,600ラック規模のデータセンターを建設し、2019年4月より稼働を開始しました。水力発電が盛んな米国ワシントン州にデータセンターを設置することで、供給される電力は100%再生可能エネルギーで賄われています。なお、Actapioは、Yahoo! JAPANとして初の海外のデータセンター（200ラック規模）を2014年12月からワシントン州で稼働を開始しました。

関連リンク：[米国に100%再生可能エネルギーのデータセンターを建設](#)